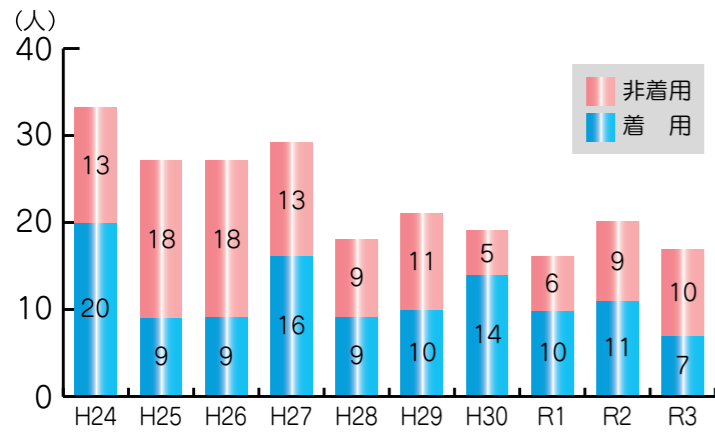


自動車乗車中死者のシートベルト着用状況の推移（10年間）

※ミニカー・特殊車を除く。着用不明は非着用を含む。



令和3年中の自動車乗車中死者17人



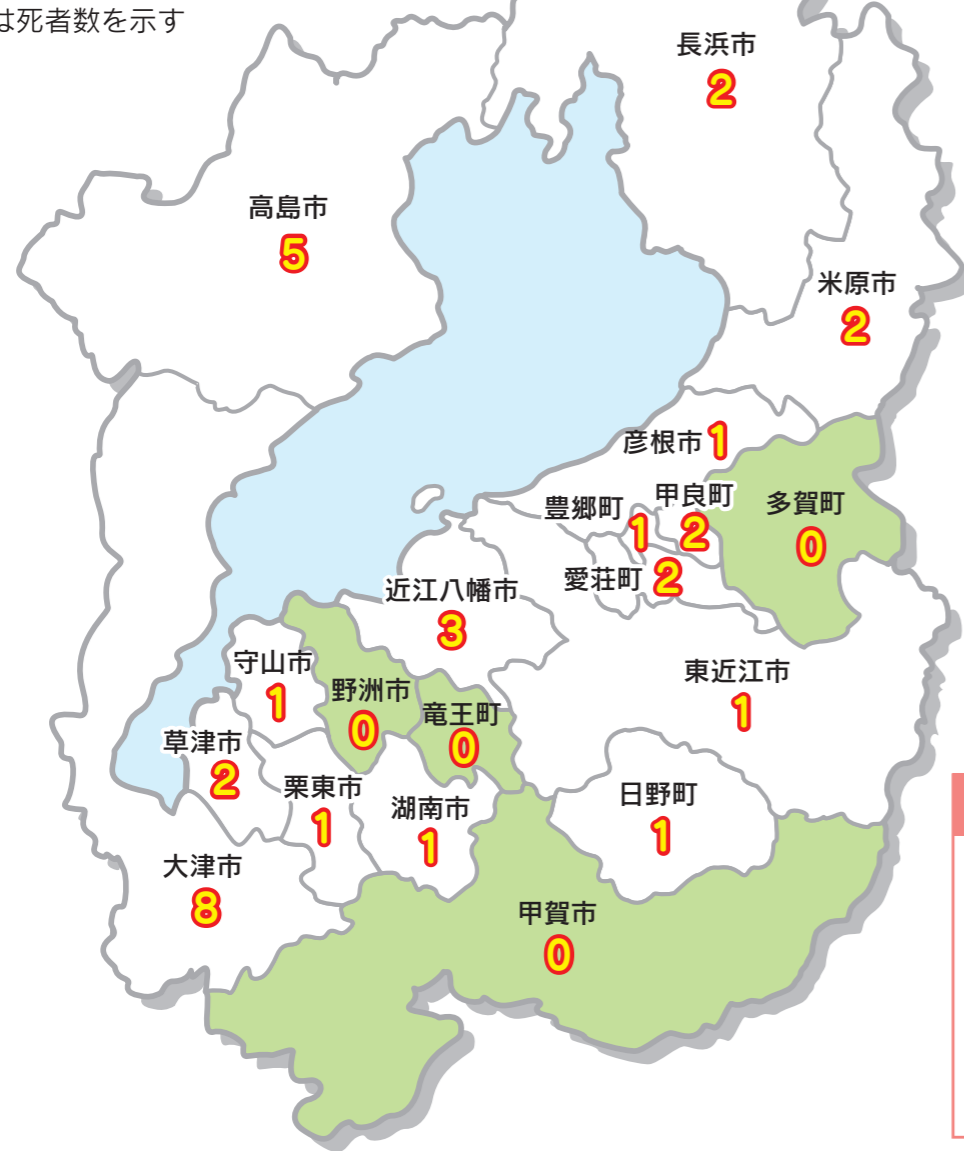
・自動車乗車中死者のシートベルト着用率は前年と比べて減少した。
 ・非着用者10人の内6人(60.0%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性がある。

発生市町別

15市町で33人

は、死者0人の市町

※ 数字は死者数を示す



高速道路で4人



死者の県内外別

県内者 28人 (75.7%)

県外者9人 (24.3%)

令和3年中の交通事故

交通事故発生状況



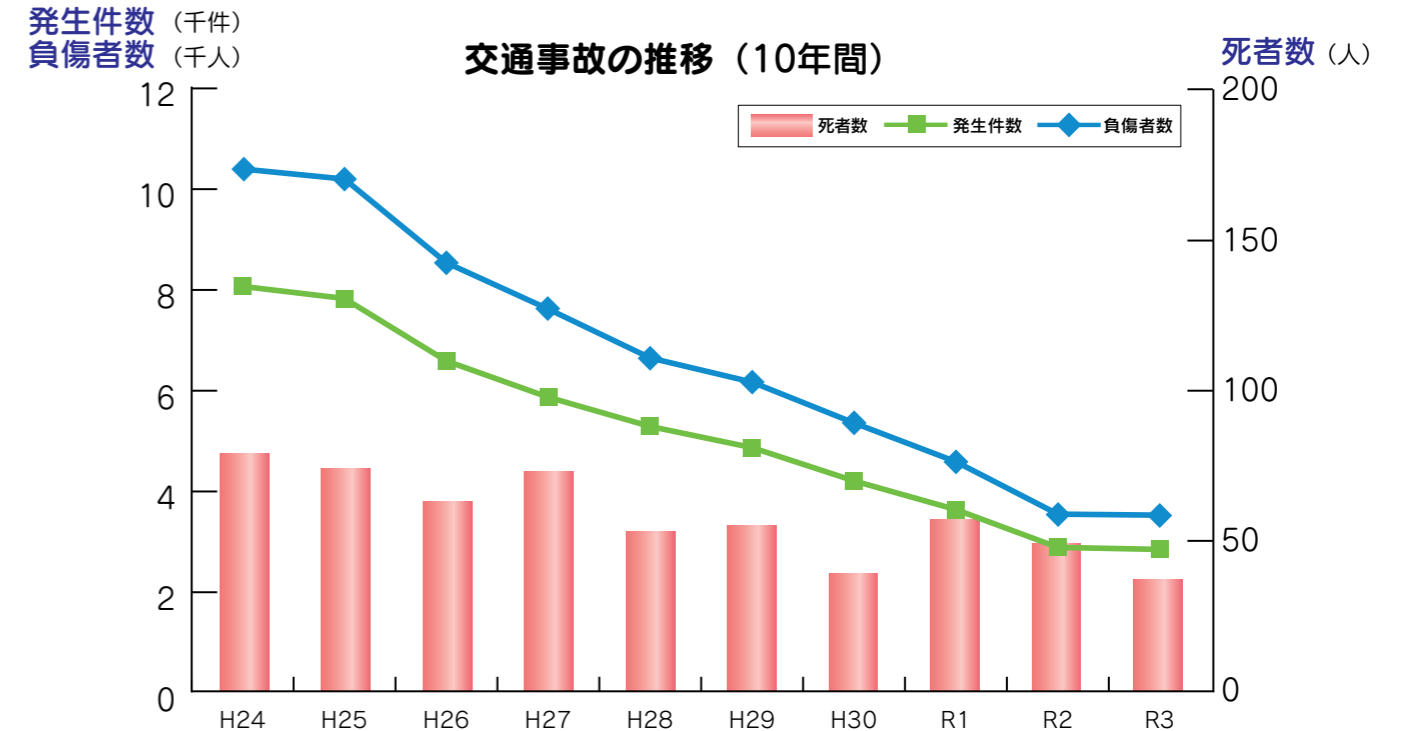
1日平均の事故

発生件数 7.8件

死者数 0.1人

負傷者数 9.7人

発生件数、負傷者数は平成23年以降11年連続で減少し、死者数は前年比12人減少



区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
発生件数	8,071	7,836	6,598	5,879	5,294	4,876	4,212	3,647	2,893	2,850
死者数	79	74	63	73	53	55	39	57	49	37
負傷者数	10,419	10,214	8,545	7,625	6,651	6,178	5,361	4,592	3,555	3,530

滋賀県警察本部

令和4年度 滋賀県交通安全スローガン

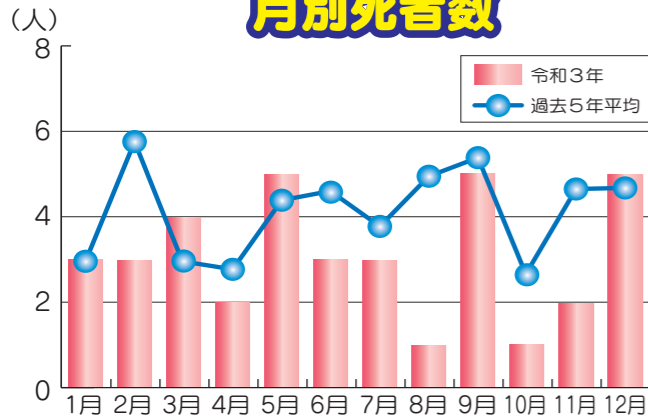
ゆずり愛 無事故きらめく びわ湖道

死亡事故の分析

～発生35件、死者37人～

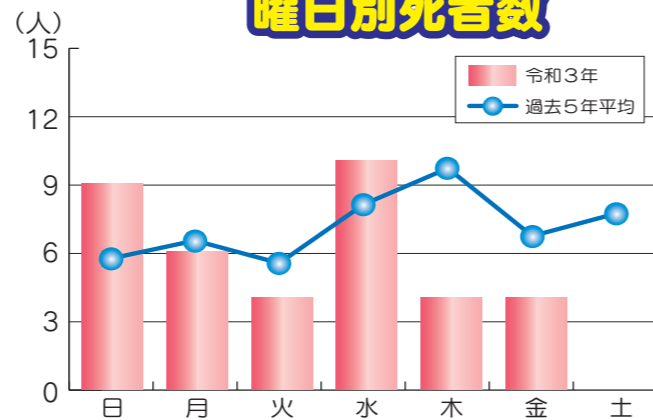
※死者とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人をいう。

月別死者数



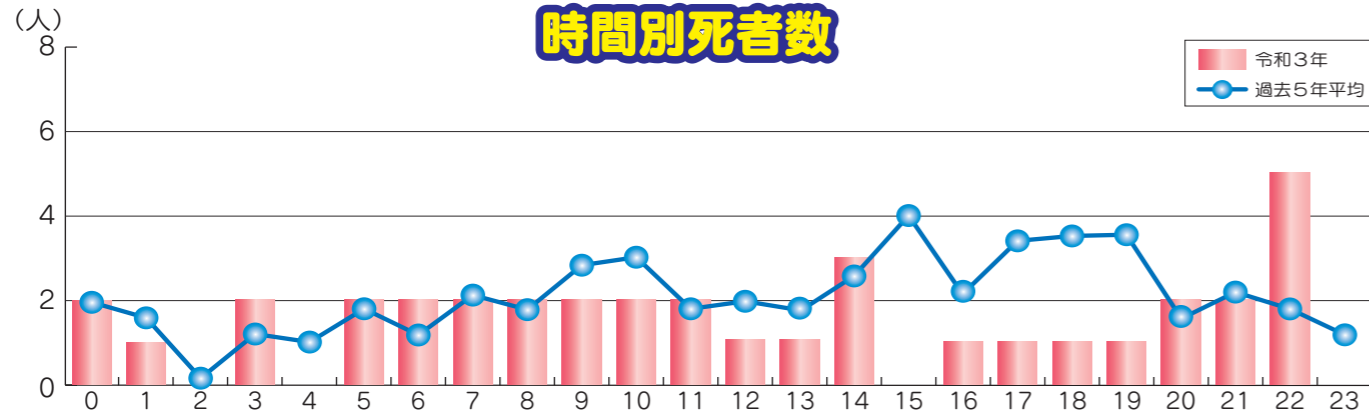
3月、5月、12月の死者数が過去5年平均よりも多かった。8月と10月の死者数が1人と最も少なかった。

曜日別死者数



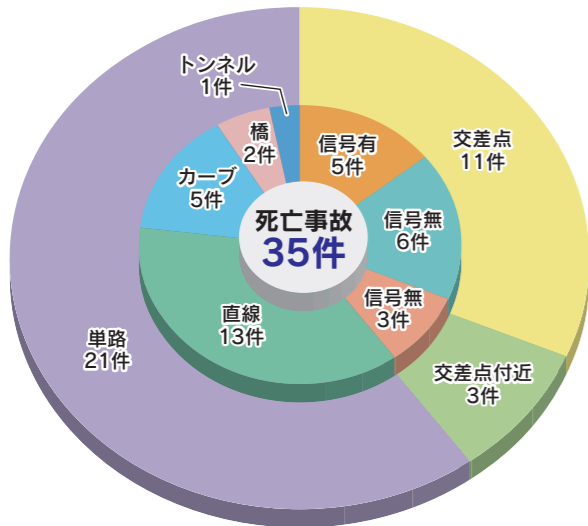
水曜日の死者数が10人で最も多かった。土曜日の死者がなかった。日・水曜日の死者は過去5年平均よりも多かった。

時間別死者数



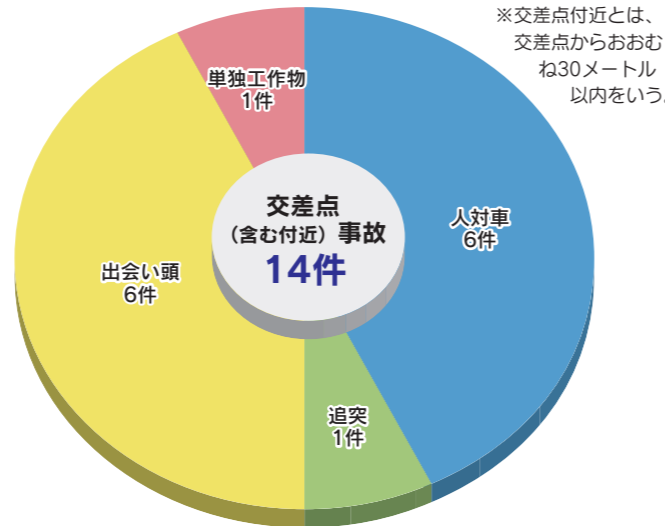
22時台の死者数が5人と最も多く、顕著にあらわれていた。

道路形状別件数



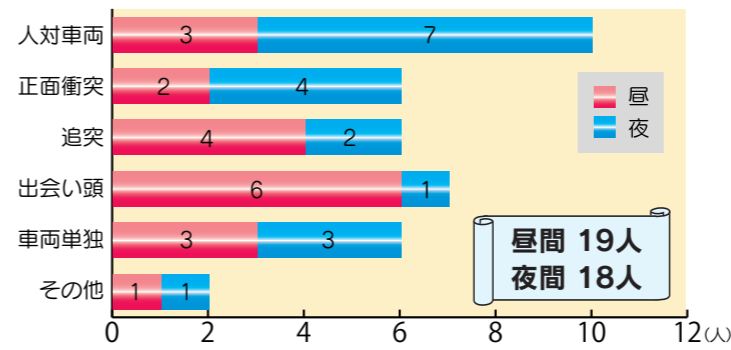
単路（直線、カーブ等）が6割を占める。

交差点(含む付近)事故の類型別件数



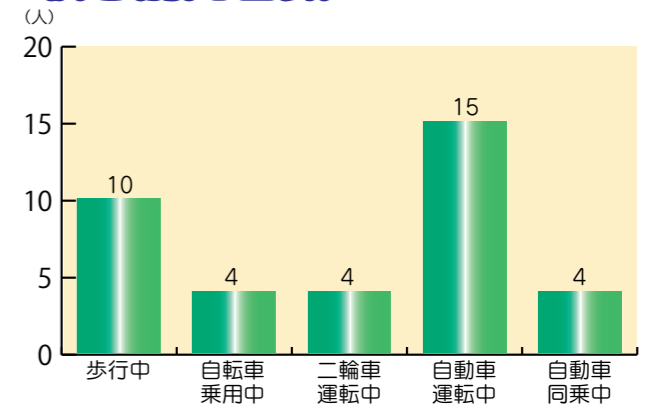
出会い頭と人対車が各6件で併せて85.7%を占める。

昼夜別事故類型別死者数



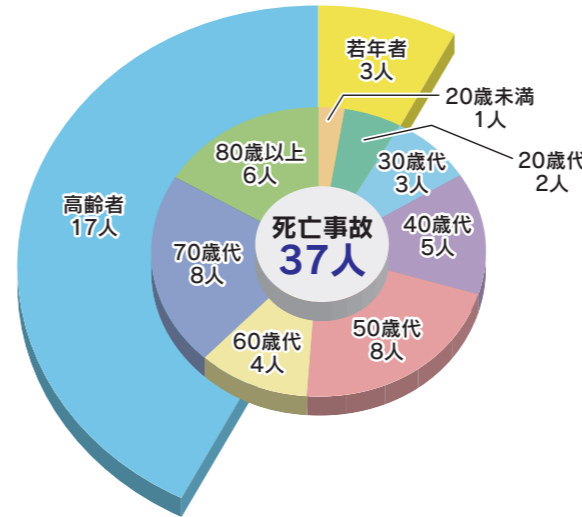
人対車両による死者が最も多く、夜間が7人を占める。

状態別死者数



自動車運転中の死者が最も多く、全死者の40.5%を占める。

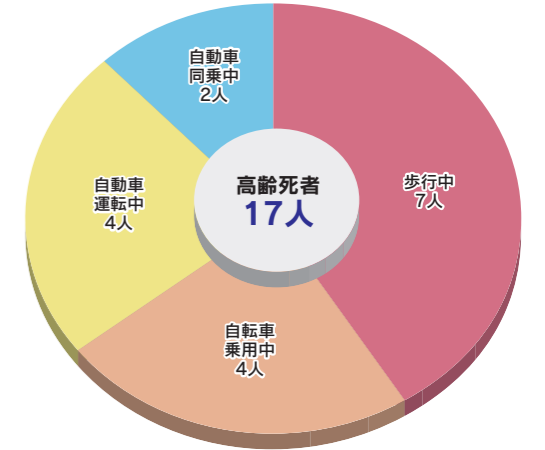
年齢層別死者数



死者の45.9%が高齢者

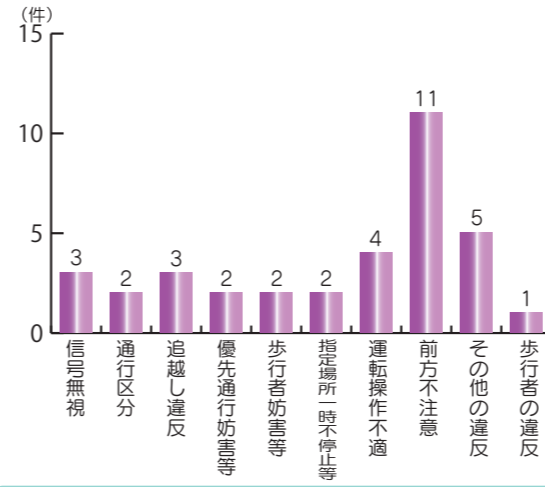
※若年者は16歳～24歳
高齢者は65歳以上

高齢死者の状態別



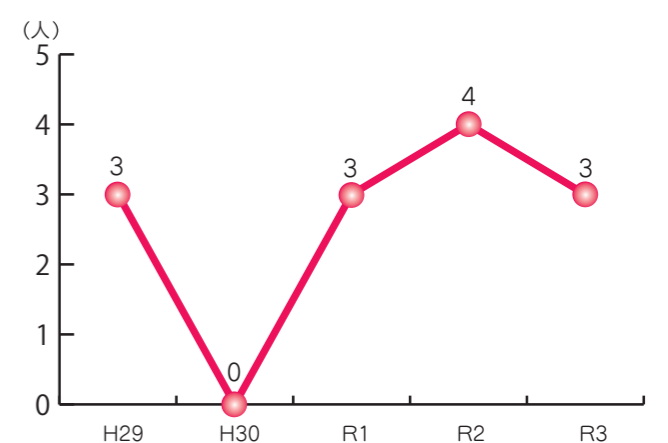
高齢死者の64.7%を歩行中・自転車乗用中が占める。

第1当事者の違反別件数



前方不注意による死亡事故が最も多い。

飲酒運転による事故の死者数の推移



平成30年（死者なし）を除き、横ばい傾向